

令和 8 年度

事業計画書

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

令和 8 年度事業計画（案）

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	法 人 本 部 事 業
基 本 方 針	1. 施設利用者及び職員等の安全・衛生管理（感染症）について、日々高い予防意識をもって対応し安心できる生活環境・利用環境を図る。 2. 無駄なく工夫改善を心掛け経費節約に努め、効率良い利用者支援の実現を図る。 3. 施設利用者の苦情解決及び権利擁護を徹底する。 4. 理事会を年 6 回程度開催する。 5. 地域との関係の円滑化を図る。
実 施 事 業	1. 小樽四ツ葉学園建設整備事業規模等について後志振興局と状況確認を実施する。 2. 豊浜学園放射線チャコールフィルター交換工事実施する。 10,945,000 円 3. 余市豊浜学園放射線防護対策維持経費を申請する。 3,835,216 円
地 域 に お け る 公 益 的 な 取 組	1. 施設利用者退所後の希望者に対し、預り金等の管理継続を実施する。 2. 施設利用中の生活困窮者に対し、冬期間の灯油等の援助を実施する。 3. 園芸市を開催し、町内会地域住民の方々へ販売提供する。 4. 新光地域貢献の一環として、花苗の提供及び苗植えを実施する。 5. 学園の行事等に学園関連者の方々を招待し交流親睦を図る。 6. 小樽市内の社会福祉関係機関の一員として、生活困窮者へ援助対応する。 7. 冬期間近隣住民の除雪を支援する。 8. 防災時、福祉避難所として開放及び防災機器の整備推進を図る。

令和 8 年度 事業計画 (案)

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

障害者支援施設 小樽四ツ葉学園 定員 60 名 現員 53 名	
施設整備備	1. 外壁（一部補修）及び屋根塗装工事 11,033,000円
	2. カーテン等更新工事 1,680,000円
	合 計 12,713,000円
支援サービスの目標	1. 感染症対策委員会を定期的開催し、新型コロナウイルス等の感染症対策の徹底（ワクチン接種、手洗い、手指消毒、事業所内の消毒等）を図る。 2. 利用者個々の健康面を重視し、軽い運動を取り入れると共に、医療機関と連携をし、健康の維持に努める。 3. 虐待防止委員会を組織し、虐待に繋がるような支援をチェックし、利用者の人権の尊重及び権利擁護の確立を図る。 4. 防火対策及び災害対策の強化を図って行くように努める。 （避難訓練実施年～2回実施） 5. 利用者の安全を確保するため、ヒヤリハット報告を活用し、事故防止対策の徹底を図る。 6. 個別サービス支援計画の作成においては、利用者の自己決定を尊重し、意思決定の支援に配慮をする。
地域との連携	1. 学園の行事に参加をして頂き、交流を深め、地域の一員として楽しく生活できる環境づくりに努める。 2. 町内会の行事等に積極的に参加する。（歩道花壇整備等） 3. 地域連携推進会議を開催し、地域との関係をより一層深める。 4. 園芸作品（花苗等）の販売を通じ、地域に貢献する。（5月中旬～下旬）

令和 8 年度 事業計画 (案)

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

生活介護事業所 よつばふれあい 定員 40 名 現員 37 名	
施設整備	1. マイクロバス（三菱ローザ4WD）更新 11,096,000円
	2. 火災通報装置更新 212,000円
	3. AED 更新（後援会助成） 362,000円
	合 計 11,670,000円
支援サービスの目標	1. 感染症対策委員会を定期的に関催し、新型コロナウイルス等の感染症対策の徹底（ワクチン接種、手洗い、手指消毒、事業所内の消毒等）を図る。 2. 利用者個人の希望を尊重し、日中活動として、椎茸・園芸・農産・軽作業・手芸等を提供し、利用者個々の適性に応じたサービスを提供する。 3. 虐待防止委員会を組織し、虐待に繋がるような支援をチェックし、利用者の人権の尊重及び権利擁護の確立を図る。 4. 防火対策及び災害対策の強化を図って行くように努める。 （避難訓練実施年～2 回実施） 5. 個別サービス支援計画の作成においては、利用者の自己決定を尊重し、意思決定の支援に配慮をする。 6. 利用者集会を開催し、要望・意見等に速やかに対応する。
地域との連携	1. 学園の行事に参加をして頂き、交流を深め、地域の一員として楽しく生活できる環境づくりに努める。 2. 町内会の行事等に積極的に参加するよう努める。（歩道花壇整備等） 3. 町内会へ駐車場等の提供を行う。 4. 園芸作品（花苗等）の販売を通じ、地域に貢献する。（5月中旬～下旬）

令和 8 年度 事業計画 (案)

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	生活介護事業所 よつばさくら 定員 40 名 現員 35 名
施設整備	1. 火災通報装置更新 212,000円
支援サービスの目標	1. 感染症対策委員会を定期的に開催し、新型コロナウイルス等の感染症対策の徹底（ワクチン接種、手洗い、手指消毒、事業所内の消毒等）を図る。 2. 利用者個人の希望を尊重し、日中活動として、椎茸・園芸・農産・軽作業・手芸等を提供し、利用者個々の適性に応じたサービスを提供する。 3. 虐待防止委員会を組織し、虐待に繋がるような支援をチェックし、利用者の人権の尊重及び権利擁護の確立を図る。 4. 防火対策及び災害対策の強化を図って行くように努める。 (避難訓練実施年～2回実施) 5. 個別サービス支援計画の作成においては、利用者の自己決定を尊重し、意思決定の支援に配慮をする。 6. 利用者集会を開催し、要望・意見等に速やかに対応する。
地域との連携	1. 学園の行事に参加をして頂き、交流を深め、地域の一員として楽しく生活できる環境づくりに努める。 2. 町内会の行事等に積極的に参加するよう努める。(歩道花壇整備等) 3. 町内会へ駐車場等の提供を行う。 4. 園芸作品（花苗等）の販売を通じ、地域に貢献する。(5月中旬～下旬)

令和 8 年度 事業計画 (案)

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	共同生活援助事業所よつばクローバー 定員 28 名 現員 23 名
施設整備	
支援サービスの目標	1. 感染症対策委員会を定期的に開催し、新型コロナウイルス等の感染症対策の徹底（ワクチン接種、手洗い、手指消毒、住居内の消毒等）を図る。 2. 地域での生活を継続していくために、夜間対応の充実を図り、より安心して安全に生活ができるように支援をする。 3. バックアップ職員と生活支援員及び世話人とのミーティングを定期的に実施し、生活の質の向上を図る。 4. 防火対策及び災害対策の強化を図って行くように努める。 (避難訓練実施年～2 回実施) 5. 個別サービス支援計画の作成においては、利用者の自己決定を尊重し、意思決定の支援に配慮をする。 6. 利用者集会を開催し、要望・意見等に速やかに対応する。
地域との連携	1. 町内会の行事等（清掃等）に参加をし、地域の中の一員として位置付けられるように努める。 2. 学園本体の行事等にも参加し、交流を深める。 3. 地域連携推進会議を開催し、地域との関係をより一層深める。

令和 8 年度 事業計画 (案)

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	相談支援事業所 四ツ葉
整備事業	
相談支援事業	1. 障がい者の福祉の向上並びに自立と社会参加を促進することを目的とし、充実した障害福祉サービス及び社会資源を十分活用できるように情報提供を図り、必要な援助、相談支援を行う。 2. 訪問相談・電話・ファクス等の方法で相談受付（月～金曜日まで9時から17時）（土曜日は9時から12時）を実施する。 3. 障がい者相談支援事業の実施において、小樽市委託の基本相談並びに他市町村からの依頼によるサービス計画作成及びモニタリングの実施を円滑に実行する。 （小樽市より委託料として、4,180,000円） 4. 障害支援区分認定調査受託（小樽市及び他市町村）
地域との連携交流	1. 障がい者の地域生活において、総合的な支援を実現するために小樽市障がい児・者支援協議会を活用し、地域での課題解決に向け、関係機関及び他の専門機関と連携調整等を行う。 2. 後志管内及び他市町村の自立支援協議会において積極的に交流を図り、情報交換を行う。 3. 小樽市委託の基本相談を通して、市内在住の障がい者を対象とした生活全般の相談、福祉サービス利用に向けた調整等の相談業務を行う。

令和8年度 事業計画（案）

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	障害者支援施設 余市幸住学園 定員50名 現員44名
施設整備事業	1. 車両更新（トヨタ トラック） 5, 100, 000円 2. 車両更新（スズキ エブリィ）車椅子対応 2, 223, 685円 3. 和同除雪機 3, 300, 000円 合 計 10, 623, 685円
支援サービスの目標	1. 本人の意思を尊重し、どの利用者也自ら意思決定を出来るよう配慮した支援に努める。 2. 感染症対策を徹底し、感染防止や感染した場合においては最小限に抑えるように努める。 3. 利用者の人権擁護に努め、常に安心・安全な生活ができるように支援する。 4. 利用者個々の要望・希望に応じて利用者に寄り添ったサービスを提供する。
地域との連携	1. 行事等を通じて地域との交流を深め、相互理解と協力を得るよう努める。 2. 地域の活動（清掃、草刈）へ積極的に参加し、連携を深めるよう努める。 3. 年1回以上、地域連携推進会議を開催し、地域住民との交流をし理解を深める。

令和8年度 事業計画（案）

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	生活介護事業所 こうずみ とよおか 定員40名 現員30名
施設整備事業	1. 車両更新（トヨタ ノア） 4,034,906円
支援サービスの目標	1. 本人の意思を尊重し、どの利用者也自ら意思決定を出来るよう配慮した支援に努める。 2. 感染症対策を徹底し、感染防止や感染した場合においては最小限に抑えるように努める。 3. 利用者の人権擁護に努め、常に安心・安全な生活ができるように支援する。 4. 利用者個々の要望・希望に応じて利用者に寄り添ったサービスを提供する。
地域との連携	1. 行事等を通じて地域との交流を深め、学園及び地域との相互理解と協力を得られるよう努める。 2. 地域の活動（清掃、草刈）へ積極的に参加し、連携を深めるよう努める。

令和8年度 事業計画（案）

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	就労継続支援B型事業所 こうずみ 定員20名 現員18名
施設整備事業	
支援サービスの目標	1. 本人の意思を尊重し、どの利用者也自ら意思決定を出来るよう配慮した支援に努める。 2. 感染症対策を徹底し、感染防止や感染した場合においては最小限に抑えるように努める。 3. 利用者の人権擁護に努め、常に安心・安全な生活ができるように支援する。 4. 利用者個々の要望・希望に応じて利用者に寄り添ったサービスを提供する。
地域との連携	1. 公衆浴場の運営を通して地域との交流を深め、より障害者への理解を深めてもらう。 2. 地域共生として公衆浴場の無料開放（敬老の日）等を実施する。

令和8年度 事業計画（案）

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	共同生活援助事業所 こうずみメープル 定員35名 現員28名
施設整備事業	
支援サービスの目標	1. 本人の意思を尊重し、どの利用者も自ら意思決定を出来るよう配慮した支援に努める。 2. 感染症対策を徹底し、感染防止や感染した場合においては最小限に抑えるように努める。 3. 利用者の人権擁護に努め、常に安心・安全な生活ができるように支援する。 4. 利用者個々の要望・希望に応じて利用者に寄り添ったサービスを提供する。
地域との連携	1. 町内会行事に参加し交流を深め、地域の一員として暮らしていけるように努める。 2. 地域での日中活動を通じて、相互理解を深める。 3. 年1回以上、地域連携推進会議を開催し、地域住民との交流をし理解を深める。

令和8年度 事業計画（案）

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	相談支援事業所 余市幸住学園
施設整備事業	
相談支援事業	1. 障害者の福祉の向上ならびに自立と社会参加を促進することを目的とし、充実した障害福祉サービス及び社会資源を十分活用できるよう情報提供をし、相談支援の実施を行う。 2. 訪問相談・電話・FAX等の方法で相談受付（月から金曜日9時から17時まで、土曜日は9時から正午まで）として実施する。 3. 障害支援区分認定調査において、関係機関と調整し実施する。
地域との連携	1. 障害者の地域生活を支援するために、自立支援協議会等を活用し、課題解決に向け関係機関及び他の専門機関と連絡調整等を行う。 2. 自立支援協議会等に積極的に参加し、他の福祉団体との情報交換及び交流を行う。

令和8年度 事業計画

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

余 市 豊 浜 学 園		定員30名 現員28名
施設整備事業	1. 男性居住棟廊下パッケージエアコン新設工事 1,400,000円 2. 男性洗面所改修工事 700,000円 3. 駐車場電灯設置工事 600,000円 4. 生活活動室床材張替え工事 480,000円 5. 男性1号室暖房器具交換工事 800,000円 6. 旧松代邸改修工事 2,500,000円 合 計	6,480,000円
支援サービスの目標	1. 利用者の障害特性等に合わせ、日中活動の内容や編成を見直し充実した活動が実施出来るように工夫する。特に強度行動障害を持つ利用者への支援体制を確立し、より安全な毎日を過ごしていただけるように努めていく。 (1) 利用者各々の年齢や特性に合わせた活動の支援や見守り体制の整備を図る。 (2) 利用者の個別支援計画や意思決定に基づいたサービスを提供し、本人のニーズを取り入れた活動の充実を図る。 2. 感染予防対策に係る隔離支援スペースや資機材整備とその活用を含めた衛生管理及び防犯対策の徹底に努める事で、リスクの低減を図る。 3. 利用者の人権擁護に努め、より実効性のある虐待防止の推進を図る。	
地域との連携	1. 海浜清掃、墓地草取り、畑の耕運、朝刊配達、老人世帯の除雪等の活動を通じて、より一層の理解が得られるよう公益的な事業を行い、今後も地域との積極的な交流、連携を強化する事に努めていく。 2. 地震等・自然災害発生時における、迅速で適切な避難が出来るように訓練を実施するとともに、放射線防護施設（フィルター棟）を活用し、停電時の充電スペースの設置や災害時の日用品の提供など、近隣住民の生活の確保を含めた拠点となるように施設機能を充実し活用していく。	

令和8年度事業計画（案）

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	中 央 保 育 所							
入 所 時 定 員	入所児定員 70名							
	歳児別	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
	歳児別定員	2	2	2	4	5	10	25
	予算積算児童数							
	歳児別	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
	積算児童数	0	0	0	2	3	10	15
施 設 整 備	施設整備事業							
運 営 方 針	運営方針 家庭と地域社会との連携を図り、子ども一人一人の人権を尊重しながら、人としての基礎作りに努力し、心身共に健やかに育成することを目指します。 (1) 休日保育事業の実施。 (2) 延長保育事業の実施。 (3) 健康児と障害児の統合保育を実施する。 (4) 保護者の子育て支援を実施する。							
保 育 の 目 標	(1) 健康で元気に活動できる子ども (2) 自分で考えて行動できる子ども (3) 心豊かで思いやりのあるやさしい子ども							

令和8年度事業計画（案）

社会福祉法人 小樽四ツ葉学園

	あおぞら保育園							
入 所 時 定 員	入所児定員 70名							
	歳 児 別	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	計
	歳児別定員	8	12	12	13	13	12	70
	予算積算児童数							
	歳 児 別	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	計
	積算児童数	6	12	8	14	10	15	65
施 設 整 備	施設整備事業 ICT化導入事業費 1, 484千円							
運 営 方 針	運営方針 家庭と地域社会との連携を図り、子ども一人一人の人権を尊重しながら、人としての基礎作りに努力し、心身共に健やかに育成することを目指します。 (1) 延長保育事業の実施。 (2) 零歳児保育事業（産休明け保育）の実施。 (3) 一時的保育の実施。 (4) 健康児と障害児の統合保育を実施する。 (5) 保護者の子育て支援を実施する。							
保 育 の 目 標	(1) 健康で元気に活動できる子ども (2) 自分で考えて行動できる子ども (3) 心豊かで思いやりのあるやさしい子ども							